

人斬り以蔵



[人斬り以蔵 下载链接1](#)

著者:司马辽太郎

出版者:新潮社

出版时间:1969/12/15

装帧:文庫

isbn:9784101152035

自己流の暗殺剣法を編み出し、盲目的な殺し屋として幕末の世を震えあがらせた岡田以蔵の数奇な生涯を追跡する表題作。日本陸軍建軍の祖といわれる大村益次郎の半生を綴った『鬼謀の人』ほか、『割って、城を』『おお、大砲』『言い触らし団右衛門』『売ろう物語』など。時代の変革期に生きた人間の内面を鋭く抉り、長編とはまた異なる味わいの、人間理解の冴えを見せる好短編、全8編。

作者介绍:

1923 - 1996。大阪市生れ。大阪外国語学校蒙古語科卒。産経新聞文化部に勤めていた1960(昭和35)年、『梟の城』で直木賞受賞。以後、歴史小説を一新する話題作を続々と発表。’66年に『竜馬がゆく』『国盗り物語』で菊池寛賞を受賞したのを始め、数々の賞を受賞。’93(平成5)年には文化勲章を受章。“司馬史観”とよばれる自在で明晰な歴史の見方が絶大な信頼をあつめるなか、’71年開始の『街道をゆく』などの連載半ばにして急逝。享年72。

目录:

[人斩り以蔵_下载链接1](#)

标签

日本

司马辽太郎

历史

小说

评论

居然為了抽到遊戲角色的不小心運氣，把她的傳記讀了

[人斩り以蔵_下载链接1](#)

书评

[人斩り以蔵 下载链接1](#)